

# 令和4年度 岩手県生涯学習推進研究発表会 開催要項

## ～ 人づくり・つながりづくり・地域づくりフォーラム2022 ～

### 【開催の趣旨】

近年、社会教育の現場において、様々なICT機器を利用した活動が盛んに行われています。国の様々な政策の中でもICTの活用が提言され、全国各地で新たな取組が行われているところです。また、新型コロナウイルス感染症が社会に大きな影響を与え、ICT技術の活用による新たな社会の仕組みが出来つつあります。広い県土を持つ本県において、社会教育現場でのICTの活用は、学びの機会を充実させる方法の一つとして注目されています。一方で、ICT機器を利用できる者と利用できない者の間に生じる格差（デジタル・デバイド）の解消等が課題となっています。

今回の研究発表会では、本県におけるICTの活用の現状や、本県や他都道府県における先進的な取組事例について触れることにより、本県の社会教育におけるICTの活用のあり方について考える機会とします。

- 1【主催/主管】 岩手県教育委員会 / 岩手県立生涯学習推進センター
- 2【後援(予定)】 岩手県市町村教育委員会協議会、岩手県社会教育連絡協議会
- 3【対象】 市町村及び県の生涯学習・社会教育関係者、生涯学習・社会教育関係機関及び団体関係者、市町村及び県の地域づくり関係者、学校関係者、NPO等民間団体関係者、関心のある県民
- 4【定員】 100名(オンラインを除く)
- 5【期 日】 令和5年2月2日(木)・2月3日(金)
- 6【会 場】 岩手県立生涯学習推進センター(又は、オンライン)  
〒025-0301 花巻市北湯口2-82-13 TEL 0198-27-4555 FAX 0198-27-4564
- 7【日 程】

**本発表会は、参集とオンラインのハイブリッド形式で行います。**

2月2日(木)			2月3日(金)		
受付13:00～, 開会13:30, 終了16:00			受付9:30～, 開会15:00		
受	開	13:45～16:00	受	10:00～12:00	休
付	会	(1) 研究発表・協議	付	(2) 事例発表・協議	憩
					13:00～15:00
					(3) 講演
					閉
					会

### 8【内 容】

#### (1) 研究発表・協議 ◆2月2日(木) 13:45 ～ 16:00◆

〔研究発表〕

- ① 「地域づくりにおける公民館等の役割と課題に関する研究  
～震災後の地域復興・地域創造に焦点を置いて～」(1年次)

生涯学習推進センター 社会教育主事 高橋 祐輝

- ② 「社会教育におけるICT活用のあり方に関する研究」(2年次)

生涯学習推進センター 社会教育主事 高橋 啓  
〔協議〕《コーディネーター・助言》 岩手大学 名誉教授 新妻 二男 氏

#### (2) 事例発表・協議 ◆2月3日(金) 10:00 ～ 12:00◆

〔事例発表〕

- ① 遠野市教育委員会 市民センター 生涯学習スポーツ課

主任兼社会教育主事 佐々木 一樹 氏  
主事 嶋村 千春 氏

- ② 埼玉県さいたま市教育委員会 生涯学習総合センター

事業・企画係主査 曾根 啓佑 氏

〔協議〕『「人づくり・つながりづくり・地域づくり」とICT活用〕

《コーディネーター・助言》 関東学院大学国際文化学部  
学部長(教授) 吉田 広毅 氏

#### (3) 講演 ◆2月3日(金) 13:00 ～ 15:00◆

「社会教育におけるICT活用について考える」

《講師》 関東学院大学国際文化学部  
学部長(教授) 吉田 広毅 氏

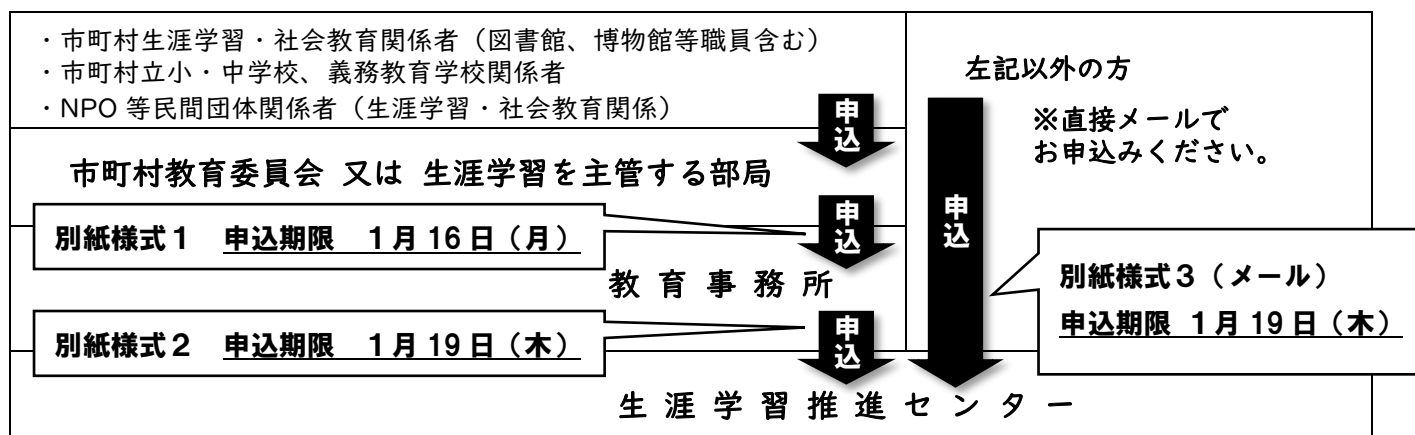


### 【講師紹介】

奈良県生まれ。専門は協調学習、自律的学習、動機付け理論を基にした英語科教育。国際基督教大学大学院教育学研究科を修了。常葉大学専任講師、准教授、教授を経て、2017年に関東学院大学に着任。現在、文部科学省国立教育政策研究所「社会教育主事講習の充実に資する学習コンテンツ等の開発に関する調査研究」委員、日本生涯教育学会 常任理事、文部科学省社会教育主事講習講師など、各種委員等としても活躍中。

「Development and Validation of the Online Cooperative Learning Anxiety Scale」(2014)、「教員養成課程における高次能力学習型反転学習による授業設計力育成に関する研究」(2015)、『生涯学習支援論ハンドブック(国立教育政策研究所社会教育実践研究センター)』(2020)、「Effects of Managerial Facilitation Strategies on Flipped Learning for Developmental English Education」(2022) 他、著書多数。

9【参加申込】 下記により、別紙様式にてお申込みください。



※ 当センターがお申込みを受け付けましたら、「申込完了通知」のメールを参加申込者全員へ送信します。そのメールをもって、申込完了といたします。参集・オンラインでの参加にかかわらず、ご本人が確認できるメールアドレスを記載しお申込みください。また、1月20日（金）までに「申込完了通知」のメールが届かない場合は、受け付けされていない場合がございますので、必ず当センター（0198-27-4555）までお問い合わせください。

10【携行品（参集参加）】

筆記用具、発表会資料（自分でご準備された方）、マスク、その他各自必要なもの

11【費用】

〔参集〕参加者旅費については、派遣者においてご負担願います。

〔オンライン〕通信にかかる費用等に関しましては、各所属または参加者にてご負担願います。

12【その他】

(1) 新型コロナウイルス感染予防の観点から、本発表会は、参集とオンラインのハイブリッド形式で行います。オンラインは、「YouTube ライブ配信（視聴者限定）」で行います。

《次の点にご留意ください》

- ① 参集かオンライン、どちらの形式で参加するかは申込用紙に記入いただきます。
  - ・ 申込時に「参集」で参加を希望した方は、当日、新型コロナウイルス感染状況や天候等、都合に合わせて、「オンライン」での参加に変更しても構いません。なお、変更の連絡は不要です。
  - ・ 申込時に「オンライン」で参加を希望した方は、当日、「参集」での参加に変更できません。
- ② 参加申込者全員に、「まなびネットいわて・特設ページ」（以後「特設ページ」）のURLを送付します。「特設ページ」には、YouTubeの配信画面、発表会資料、アンケートなどを、アップ（掲載）します。
- ③ 発表会資料は、前日までに「特設ページ」に掲載します。オンラインで参加予定の方は、資料をダウンロード、印刷するなどして各自でご準備ください。また、参集で参加予定の方で、可能な方も各自資料をご準備しご来場ください。
- ④ 新型コロナウイルス感染状況拡大等により当センターが参集は困難と判断した場合、本発表会はオンラインのみで実施します。
- ⑤ 参加申込後の諸連絡は、参加申込時のメールアドレス宛てに送付します。申込後は定期的にご確認くださいようお願いいたします。

(2) 「参集」で発表会に参加の方へ

- ① マスク着用や手洗い、消毒、座席指定等、新型コロナウイルス感染予防の対策にご協力ください。会場の換気を定期的に行いますので、ご了承ください。
- ② 当日、自宅にて検温をしてからご来場ください。また、来場の際も改めて検温をさせていただきます。発熱や咳等体調不良の場合は、発表会への参加をご遠慮ください。
- ③ 感染状況に応じて参加者名簿を関係機関に提出することがありますので、ご了承ください。
- ④ 昼食の斡旋は行いませんので、各自ご準備ください。（当センター周辺にコンビニエンスストア・食堂等はありませんので、事前にご準備ください。昼食会場は準備します。）
- ⑤ 県立生涯学習推進センターまでの交通案内につきましては「岩手県生涯学習情報提供システム“まなびネットいわて”」内の「交通アクセス」をご参照ください。
- ⑥ 災害や悪天候等のため、公共交通機関の停止やライフラインの寸断の際は、ホームページ・Twitterによりお知らせします。事前にご確認ください。下記二次元コードからアクセスできます。

<p>[ホームページ]</p>  <p><a href="https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/">https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/</a></p>	<p>[Twitter]</p> 
--	--

<p>〈担当〉</p> <p>生涯学習部</p> <p>主任社会教育主事 平澤 和史</p> <p>TEL 0198-27-4555（内線215）</p> <p>FAX 0198-27-4564</p> <p>E-mail : kazufumi-h@pref.iwate.jp</p> <p>LG-mail : kazufumi-h@pref.iwate.lg.jp</p>
---